

「向島中学校区小中一貫教育校」平成31年4月に開校へ ―向島二の丸小と二の丸北小が一次統合―



「向島中学校区小中一貫教育校」完成イメージ。

向島二の丸小学校、二の丸北小学校、向島南小学校の3小学校を統合し、向島中学校と合わせた「向島中学校区小中一貫教育校」が、2年後の平成31年4月、二の丸北小学校跡地に開校予定です（上完成イメージ）。

小中一貫教育校校舎建設のための工事が、今年4月から始まるのに伴い、3月24日には、二の丸北小学校の閉校式が行われ、同小学校の31年の歴史に幕を閉じました（右上写真）。

4月5日には、向島二の丸小学校と二の丸北小学校の統合式が向島二の丸小学校で行われました。

一次統合に伴う学校名は、「向島二の丸小学校」を使用することとなりました。

「向島中学校区小中一貫教育校」の設置は、小・中学校の児童生徒数減少が最大の理由ですが、伏見区で初の施設一体型小中一貫教育校として大きな注目と期待が寄せられています。

校名は地元案として「秀蓮（しゅうれん）」が選定され、語頭・語尾を加えた最終案は今後検討・決定されます。

二の丸北小学校校舎の解体工事が8月末までに終わり、新校舎の建設は今年9月から始まる予定です。



3月24日に行われた二の丸北小学校閉校式。



4月5日向島二の丸小学校で行われた統合式。



向島駅前で停車中の近鉄バス。

京都市は向島地域の近鉄バスをはじめ、市民生活の足の役割を担う民間バス事業者に対して、「バス待ち環境の整備に対する支援などを行う」として6,500万円を予算化しました。

支援内容は、①バス停上屋、ベンチ、バスロケモニターの設置など「バス待ち環境の整備」②バス路線・ダイヤについての社会実験への支援の検討となっており、今後、具体的な支援箇所が決定されます。

住民のみなさんからは、近鉄バスの停留所にベンチや屋根がない、敬老乗車証が使える近鉄バスの向島駅から竹田駅への始発時間を早め、便数を増やして欲しい、区役所などに行きやすいルートをつかって欲しいなどの声が寄せられています。

近鉄バスなど民間バス事業者への支援策が予算化



4月25日京都市担当者、住民らで中央公園の状況を調査。

京都市の平成29年度予算で、向島中央公園のリフレッシュ事業に3,720万円の予算がつきました。

中央公園については、住民のみなさんから「樹木の伐採などを行い、子どもも女性も安心して散策できる公園にしてほしい」との強い要望がでていました。

京都市は、「平成29年度、30年度の2年間で、樹木伐採後、必要に応じて新たに植樹を行い、根上部分の園路整備を行いたい」としており、平成29年度は、樹木の伐採と新植を行う予定とのことです。

向島中央公園リフレッシュ事業に三、七二〇万円の予算



～向島ニュータウン再生・向島地域の活性化～
「人の力で、まちはかえられる」

向島まちづくり通信 第7号

平成29年5月24日発行

中文版、請看下面的网址。 <http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000199646.html>

向島ニュータウンまちづくりビジョン策定

昨年度より検討会、ワーキンググループ、話し合う集いなどを通して住民・事業者・行政等がともに検討を進めてきた「まちづくりビジョン」が3月に策定されました。

目指すまちの姿として「誰もが生き活きと暮らせる向島ニュータウン～暮らし心地を誇れる「多文化・多

世代共生のまち～」を掲げ、6つの方針に基づく115の取組がとりまとめられています。

ビジョンの冊子は伏見区役所、市住宅供給公社向島営業所で配布されているほか、京都市ホームページでもご覧いただけます。



まちづくりビジョン推進会議が立ち上がりました

まちづくりビジョンに掲げられた取組の進行管理、継続検討、取組支援を担う母体として「推進会議」が設立されました。推進会議は、各街区からの代表者、地域団体、住民組織、事業者、教育機関、行政、学識経験者が協働して参画（委員47名＊重複者・予定者含む）し、住民主体のもと、事業者、行政とのパートナーシップによるまちづくりをすすめていきます。

第1回推進会議が開催されました

第1回推進会議が4月22日に開催されました。推進会議設立準備会（3月31日開催）において確認された推進会議体制・役割等の方向性を踏まえ、規約等が承認され、正式に推進会議が立ち上がりました。



推進会議での主な意見

- 推進会議は「向島ニュータウンの再生、活性化そのものを目指す会議」という主旨を踏まえた目的を規約に記載し、運営していくべき。
- 全体の企画・調整を担う運営会議を置き、WG長や住民が参加しながら、ビジョン推進を担っていく必要がある。

- 一番の問題は、コミュニケーションをとりたくてもとれない人がいること。足の悪い方は外に出られないし、老老介護の実態も掴むにつけ、ますますコミュニケーションや災害時の安心・安全につながる対策が必要。
- マイナス面になっている部分は改善の努力をしながら、プラス面を考えたまちづくりに一層努力したい。

発行：向島まちづくりビジョン推進会議

事務局・問い合わせ先：京都市都市計画局都市企画部都市総務課 担当：菱田、藤田、片山

電話：075-222-3610 ファックス：075-222-3689 メール：toshisomu@city.kyoto.lg.jp

まちづくりビジョン・WG開催情報などは [向島のまちづくり](#) [検索](#)



取組ワーキンググループの会合が始まります

ビジョンに掲げられた取組を具体的に形にしていくために「取組ワーキンググループ」が5テーマで立ち上がり、話し合いや活動がスタートします。活動にご関心ある方はどなたでもご参加いただけます。



ワーキング名	進めていく取組例	次回開催予定
魅力発信・商業地賑わい WG	・まちあるきマップ作成と歴史まちあるき企画の実施 ・農を活かした来訪者の呼び込み・駅前活性化マルシェ ・向島ニュータウン商店街の空き店舗及び広場の活用	推進会議事務局(裏面記載の通り)にお問合せください。
住環境 WG *その他定期的に住環境パトロール実施中	・市営住宅集会所・空き家の改修と活用 ・中央公園の再整備と、東公園とも合わせたバリアフリー化等の検討	5/30(火) 19時～ 京都文教マイタウン向島(近商ストア向かい)
暮らし安心 WG	・街区集会所等による高齢者サポート拠点(介助ステーション、食事スペース、バリアフリー整備などのリニューアルなど)づくり ・中国帰国者等の生活課題、ニーズや自助グループの活動におけるニーズを把握し、支援策等を検討	6/10(土) 10時～ 京都文教大学常照館第1会議室
子ども・若者支援 WG	・既存施設・新規施設において住民主体により、子どもが楽しみ学べる拠点「アフター5スクール」づくりの推進 ・夜の安心安全な居場所、食の支援、学習支援	6/3(土) 10時～ 学生センターセミナーハウス2階会議室
防災防犯 WG	・配慮が必要な住民(障害者、高齢者)の情報共有とニーズの把握調査 ・災害時要配慮者の避難誘導、支援の関係づくり、体制づくり ・空き家の避難所向け整備 ・災害時の空き家や公園の活用に係る運用マニュアル等の作成など	6/17(土) 10時～ 学生センターセミナーハウス2階会議室

取組ワーキンググループの開催予定は、各街区・各棟の掲示板、京都文教マイタウン向島(MJ：近商ストア向かい)に定期的に掲示し、お知らせしています。その他、京都市ホームページ、推進会議事務局(裏面記載の通り)にお問合せいただければご案内いたします。

向島ニュータウン・地域の主なニュース

「暮らし心地を誇れる『多文化・多世代共生』のまち」へ、地域に根ざしたまちづくりの活動が広がっています

向島ニュータウンでは、各学区の自治会や各種団体、民生・児童委員協議会や社会福祉協議会、医療機関・福祉施設、向島駅前まちづくり協議会や、近商前の商店街にある京都文教マイタウン向島(MJ)などによる地域に根ざした活動が取り組まれています。

MJランチクラブ

向島駅前まちづくり協議会が平成25年1月に行った向島住民のアンケートで、1人暮らしの高齢者が多いことが明らかになりました。

これを受けてはじまったのがMJランチクラブです。毎月第3火曜日、午前11時30分～午後2時に近商前のMJで、民生委員のみなさんの協力を得て行われています。食事のあとは軽い体操や健康相談などもおこないます。

花見をかねて4月5日に京都文教大学食堂で行われたランチクラブには60人を超える参加がありました(上写真)。



MJキッズキッチン

「夏休みになって給食がないので痩せてきている子どもがいる」との話しがきっかけになってはじまったのがMJキッズキッチンです。

京都文教大学の学生と教員、ランチクラブのボランティア、民生委員が協力して毎月第3土曜日、午前10時～午後3時にMJで、「自分たちで買い物したものを料理して、お腹いっぱい食べる」会として行われています。

メニューは、ハンバーグやカレー、お好み焼きなど。食後は中央公園で自然観察や鬼ごっこなどを行っています。



一緒に料理を作る子どもたち。

MJランチクラブ・MJキッズキッチンの問い合わせ先 京都文教大学フィールドリサーチオフィス TEL:0774-25-2630

豊臣秀吉は一五九四年に伏見区桃山の地に築城された指月伏見城(じげつふしむしじょう)に入城。秀吉はさらに、徳川家康が下屋敷を構えていた向島の地に、「遊行の拠点として向島城を築城。秀吉自らも何度も訪れました。秀吉が一五九八年に亡くなると、家康が向島城を居城にしました。



史を発信する新たな試みです(左写真)。



4月2日、観月橋駅に集まった参加の人たち。

向島歴史めぐり
向島城には秀吉も訪れ、家康の屋敷もあった
四月二日、向島学区にお住まいの地元の方の案内で、「秀吉・家康ゆかりの向島城址をめぐる」ウォーキングが行われました。

向島のまちづくりをみんなで進めていくための「話し合う集い」を開催します。

どなたでもご参加いただけます。ビジョンの内容を共有するとともに、小中学校敷地活用など、向島の将来に向けて話し合う場です。ぜひご参加ください。



テーマ 小中学校敷地を始めとする資産活用の視点から向島ニュータウン・地域のまちづくりを考える

日時：7月1日(土) 9時30分～12時00分
場所：向島二の丸小学校 体育館

※手話通訳・託児(保育)・中国語通訳等、参加にあたって配慮が必要な方がおられましたら6月23日(金)までに裏面記載の問合せ先までご連絡ください。

東日本大震災、福島第一原発事故から6年。「3・11メモリアルキャンドルinむかいじま2017/慰霊と復興・平和への願いを込めて」が3月11日、6街区京都銀行前広場で行われました(上写真)。

主催は、原発事故で向島ニュータウンに避難している方たちの「笑顔つながろう会」と地域住民らが一緒につくる「3・11メモリアルキャンドルin向島実行委員会」。

(MJ)で避難者のお話や被災地の写真展もおこないました。

午後6時に、「3・11」にかたどって置かれた約500本の色とりどりのキャンドルに火がともされ、犠牲になった多くの人々、いまま避難生活を余儀なくされている人たちに想いを寄せました。

「メモリアルキャンドルinむかいじま」は平成25年から毎年行われており、今回が5回目です。



「3・11メモリアルキャンドルinむかいじま2017」開催



3月25日に小学校ランチルームで行われた向島藤ノ木学区社協の「健康すこやか学級」

向島ニュータウンでは、3つの学区全てに社会福祉協議会が設立され、高齢者の健康づくり、居場所づくりの取組が広がっています。

向島藤ノ木学区社協は平成27年9月の再開以来、小学校のランチルームや各街区の集会所を使って毎月「健康すこやか学級」を開催、毎回30人～40人が参加しています。

「第二京しみず」や「向島美郷」など高齢者施設の協力も得て、健康づくりの話しに耳を傾け、認知症予防ゲームやカラオケなど取り組んでいます。

高齢者の健康づくり、居場所づくりの取組広がる

